

## 昭和20年8月1日 長岡空襲体験者の証言

令和2年度長岡市平和祈念式典体験談講話者 金子 登美 さん  
(当時11歳 表町国民学校6年生)

昭和20年8月1日、朝からとてもいいお天気でした。夏休みの第1日目でもあったので、なんとなくのんびりしていましたが、その日がまさかあの恐ろしい日になるとは、少しもわかりませんでした。

私は、表町国民学校6年生。住んでいたのは平潟神社のすぐ近くです。

夜9時ごろ、警戒警報のサイレンが鳴りました。ウウウー——、恐ろしいサイレンの音も、その頃になると毎日のように鳴っては何事もなく過ぎたので怖くありませんでしたが、一応決められたように、家じゅう暗くして窓をびったり閉め、灯りが外に漏れないように、じっとお家の中にいましたが、暑くてたまりません。

7つ年上の姉と私は、こっそりと外に忍び出たんです。空を見上げると、なんといい美しい星空だったことでしょう。きらきらと輝いています。警報中なのも忘れて、姉と私は、しばらくべちゃくちゃとおしゃべりをしておりましたが、それが、私たち姉妹のこの世で最後のおしゃべりとなってしまいました。

それから私たちは、一旦家に入りましたが、10時半ごろ、今度は空襲警報のサイレンです。ウウウー——、ウウー、ぞつとするような響きですが、これもまた、もうその頃は怖くなくなっていました。私は隣のエミちゃんという子と手をつないで、家のすぐ前の空き地の防空壕に入りました。しゃがんだとたんに、ドッカーンと聞いたこともないような音です。私た

ちは震えあがりました。防空壕からは絶対出るなと先生に言われています。我慢しました。だけど、一緒に入っているどこかのお年寄りが「ナンマンガブツナンマンガブツ・・・」と言ったんですね。それを聞いたとたん、子ども心で大変なことが起きたと思いました。思い切って手をつないで防空壕の外に飛び出したんです。あの美しい星空はもうありません。夕焼けのような赤く染まった空。そして、驚いたことに大火事が町の向こうから始まっているように見えました。エミちゃんと私は呆然としましたが、学校で教えられたとおり、ドカーンと音がするたびに、耳と目をしっかり押さえて地べたに伏せました。それは、焼夷弾にはなんの役にも立たなかったんです。

防空訓練とは全く予想が違う空襲の始まり方に、大人たちもパニックになってしまいました。私たちは、近所のおばさんに「トミちゃんもエミちゃんも早く母ちゃんのとこへ行きなさい」と言われ、その声で我に返って家族のもとへ駆け寄りしました。私は5人家族で、私の兄は裏に爆弾が落ちたので、1人で先に逃げてしまったようです。探している暇もありません。

父は、「柿川に飛び込もう」と言いました。うちの広い空き地を横切ると、そこに柿川が流れていたんです。そこを目指して走りました。

そして、飛び込もうと上から見下ろしましたら、なんと、柿川が炎を上げて火の川になっています。

私たちは仕方なくまた引き返しましたが、この時、父と姉の姿を見失ってしまいました。私たち家族のそれが、最後となりました。

母と私は、2人になって、人にもまれてあっちへ行ったりこっちへ行ったり、逃げ回ります。だんだん家の周りの植木に火が付き、火の粉が吹雪のように吹き付けました。防空頭巾にも火が付きます。母はどこからか、お布団を2枚持ってきて、私に1枚、自分に1枚、かぶせました。上を見ることはできません。下を見てお互いを見失わないようにするのが精一杯。うろうろと逃げ回りましたが、お布団にも火が付きました。頭がぼんやりして、酸欠のせいか、私たちは何をしているのかわからなくなってしまったんです。

気が付いた時、また、家の前の防空壕のある広い空き地に私たちは戻ってきました。その空き地の真ん中に生ごみを捨てるための大きな穴が掘ってあって、私と母はお布団をかぶったまま、そこにどさっ、どさっ飛び込みました。何人かの人もう横たわっていました。もう動きませんでした。

母は、「登美や、ここで死のうて」と言いました。私たちは死ぬ覚悟をしたんですが、私がだんだんと眠ったようになっていましたら、母がいつの間にか穴からは這い上がって、私を上から引きずり上げようとしています。あんな火の中に戻るくらいだったら、このごみの上で死んだ方がいいや。私はそう思ってぐずぐずしていましたが、私の下になっていたどこかのおじさんが、私を外にぼんと放り投げてくれたんです。私が乗っかってい

た方が、熱くなくてよかったのに、今でも不思議でなりません。

母は、その時死を覚悟しましたが、最後にその穴から外を見たときに、さっきいた柿川までの火の中を一筋の道が通っていくのが見えたんだそうです。錯覚だったかもしれませんが、母は、これが最後の道だと信じました。這い上がった私と母は、一生懸命に柿川を目指して走りました。さっき、火の川だった柿川でしたが、もう一回行ったんですね。これが私たち2人の運命を分けました。



▲ 金子登美 画 「火の海からの脱出」

飛び込もうと思ってさっきのように見下ろしたら、焼夷弾の油に引火した炎は、すっかり流れ去っていました。私たちはお布団をかぶったまま、ドボン、ドボンと飛び込みました。こうして柿川の中で首だけ出して夜が明けるのを待ちました。一緒に入っていた人の中には、手が滑って子どもたち2人を流してしまった人もいました。

夜が明けました。思い切って石段を這い上がってのぞいた時の長岡。なんという長岡でしょう。1キロメートル先の長岡駅が、すぐ目の前に見えます。黒く焼け



焦げ、男か女かわからなくなった死体が、あっちにもこっちにもゴロゴロ転がっています。また、酸欠で亡くなったのか、近所のおばあちゃんとお嫁さんが、赤ちゃんをしっかりと抱いて横たわっていました。平潟神社の方にも行ってみましたが、あんなに信じていた防空壕が、人を助けることができません。死体が転がった中で、防空壕の中にもびっしり人が入って死んでいました。



▲ 多くの人が命を落とした柿川(船江町付近)  
『長岡の空襲』より

「姉ちゃん！父ちゃん！」探しましたが、2人はとうとう、出て参りませんでした。先に逃げた兄が、すすけたような顔をして現れました。

空襲の話は、あまりにも残酷で、惨めで、私はそれから60歳近くなるまで、空襲の話は決してしませんでした。言えば、涙が出てくる。よけい惨めになったからです。でも、私が空襲の話をしないと、あの夜、何にも知らずに亡くなった人たち、驚きと悲しみの中で死んだことでしょう。あの人たちのことが忘れられてしまうと気が付いた時から、哀れで哀れでなりません。それからこういうふうになりました。の前でお話をするようになりました。

今、あのごみの中で、本当は死んでいた


かもしれない6年生の女の子は、86歳のおばあちゃんになりました。戦争がないってなんていいことだろう。普段の日常ってというのは、なんてありがたいことだろう。毎日思わずにはいられません。

でも、今の平和はあの大勢の犠牲者が残していったくれた平和です。それを決して、忘れてはいけなと思います。

また、空襲で生き残りはしたものの、私たちの親の年代の人たちは、あの焼け野原の中で肉親を亡くし、家を失くし、それでも頑張っ立ち直らなければいけませんでした。あの、何にもない、焼け野原の長岡で、私たち子どもを育ててくれた、あの世代の人たち。私たちの親の年代は、何も語ることなく、今はすでにこの世におりません。

今日は、その人たちの気持ちも込めて、皆さんにお伝えしたくて、こうしてお話をさせていただきました。ありがとうございました。

## 平和への主な取組み

1945（昭和20）年7月20日 8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬原子爆弾投下</li> <li>・長岡空襲</li> </ul>
	
1947（昭和22）年9月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦災殉難者之墓」建立（昌福寺境内）</li> </ul>
1951（昭和26）年11月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平和像」建立（長岡駅前 現在は平和の森公園）</li> </ul>
1952（昭和27）年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回「平和祈願祭」実施（新潟県教職員組合）</li> </ul>
1958（昭和33）年11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦災殉難者慰霊塔」建立（平潟神社境内）</li> </ul>
1984（昭和59）年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「非核平和都市宣言」議決</li> <li>・第1回「柿川灯籠流し」実施（長岡青年会議所）</li> </ul>
1985（昭和60）年7月25日 8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「非核平和都市宣言記念碑」建立 （明治公園 現在は平和の森公園）</li> <li>・第1回「非核平和都市宣言市民の集い」開催</li> </ul>
1986（昭和61）年8月1日 8月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「非核平和都市宣言市民の集い」と「平和祈願祭」が合体して開催</li> <li>・広島平和記念式典に市内中学生の派遣を開始</li> </ul>
1987（昭和62）年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍『長岡の空襲』発行</li> </ul>
1990（平成2）年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中学生から平和作品を募集（作文・標語・ポスター）</li> </ul>
1995（平成7）年7月31日 8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦災殉難者慰霊塔」移転・修復（平潟公園）</li> <li>・戦災50周年事業「長岡の空襲展」開催（厚生会館）</li> </ul>
1996（平成8）年7月31日 8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和の森公園の完成を記念して「平和の森コンサート」を開催</li> <li>・平和の森公園開園</li> </ul>
1998（平成10）年 8月1日～20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和へのメッセージ「長岡戦災資料展」開催（厚生会館）</li> </ul>
2003（平成15）年7月12日 8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡戦災資料館開館（大手通2丁目）</li> <li>・慰霊の花火「白菊」打ち上げ</li> </ul>
2004（平成16）年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本非核宣言自治体協議会」への加盟</li> </ul>
2005（平成17）年7月20日 7月20日～8月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「模擬原子爆弾投下地点跡地の碑」建立（左近町永代橋付近）</li> <li>・「長岡戦災60周年特別企画展」開催（市民センター）</li> </ul>



8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子像の建立（戦災資料館）</li> <li>・「長岡空襲を語り伝える青少年のための集い」開催（長岡リリックホール）</li> </ul>
2006（平成18）年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市制100周年事業「ながおか平和フォーラム」開催</li> </ul>
2007（平成19）年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『長岡空襲体験画集』発行</li> </ul>
2008（平成20）年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡戦災資料館 移転・開館（城内町2丁目）</li> </ul>
	
2009（平成21）年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回「長岡空襲殉難者追慕の集い」開催</li> </ul>
2010（平成22）年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリゾナ記念館、山本五十六記念館、戦災資料館の3館で相互展示等を合意</li> </ul>
2012（平成24）年3月2日 (現地時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホノルル市と姉妹都市を締結</li> </ul>
4月7日 (現地時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシントン全米桜祭りにて、平和のシンボルとして長岡火花打上げ</li> </ul>
2013（平成25）年10月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡戦災資料館 開館10周年記念誌『語りつぐ長岡空襲』発行</li> </ul>
2015（平成27）年	
7月5日～10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡空襲70年企画「戦災資料館特別展」開催</li> </ul>
7月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「長岡市恒久平和の日」条例議決</li> </ul>
8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「長岡市平和祈念式典」開催</li> </ul>
8月15日・16日 (現地時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡ホノルル平和交流記念事業を実施（ホノルル市）</li> </ul>
2016（平成28）年7月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「非核平和都市宣言」の表示板を設置（アオーレ長岡）</li> </ul>
8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「長岡空襲爆撃中心点の碑」建立（明治公園内）</li> </ul>
2016（平成28）年12月7日 (現地時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真珠湾75周年追悼記念式典に磯田達伸市長らが参列</li> </ul>
2018（平成30）年	
7月1日～5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「長岡戦災資料館開館15周年記念特別展」開催（アオーレ長岡）</li> </ul>
8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡まつり「前夜祭」から「平和祭」に名称を変更して開催</li> </ul>
2020（令和2）年	
7月18日～22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡空襲75年企画事業「長岡空襲体験画特別展」開催（アオーレ長岡）</li> </ul>

志、未来へ。



長岡市